

河辺放課後子ども教室「河辺い吟詠クラブ」について

今年で3年目（吟詠クラブとしては5年目）を迎えました。

毎週水曜日の放課後、現在では6名の児童とALTのアメリカ人のジョー先生で、たくし詩吟（SHIGIN）をしています。

ふだんはゲームなどで背を丸めがちな子どもたちも、背筋をピンと伸ばし、お腹からの声を「カメハメ波」の様に出して漢詞を吟じています。



今年も昨年に続き、全国吟詠大会・四国大会に出場するKさん
愛国大会、ジュニア大阪に出場するMさん
と一緒に、みんな頑張っています。

日本の文化にも触れてもらいたいのので、大洲から先生をお招き
して昨年は「創詩舞体験」を、今年は「尺八体験」（6/19）
を行います。



来る8月4日には、大洲福祉センターで「愛媛県青少年吟創
詩舞大会」が行われ、各自と合吟コンクールに出場予定で
地域の皆さま！応援よろしくお願いします。

地域学校協働活動推進事業について

河辺中学校・小学校長 竹本 親由

今年、河辺小学校・中学校に地域学校協働活動推進事業の一環で、「地域コーディネーター」という職員を配置していただきました。これは、「地域コーディネーター」が、学校と地域住民等との連絡や調整を行うことで、学校と地域が連携・協働して未来を担う子どもたちの成長を支えていこうというものです。上記の「河辺放課後子ども教室（吟詠クラブ）」も、この事業の一環となっています。学校と地域が協働して河辺の子どもたちのよりよい成長を図っていきたいと思いますので、地域の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

（のぶすま通信6月号 文責 田中 治子 地域コーディネーター）